



Seasons Greetings!

I am assigned only two tasks each year ... the Christmas photo and the Christmas letter. Sounds simple and yet, I have a tarnished record. There have been problems ... once a dog ate the Christmas letter, sometimes I forget to take the picture ... last year, the camera failed.

This year's Christmas photo was taken in Egypt with the pyramids of Giza and the giant Kimono Lady in the

background. You can see a small plane sky writing while Jet, a black dog from Minnesota, sniffs around in the sand and a curious camel looks on. Okay, it is an unusual looking picture.

I can hear the doubters whispering "he failed again ... it's a fake" and asking questions like, "Why is Jet, the black dog from Minnesota, in the photo and how did he get there?" I suspect the answer involves wrinkles in the time-space continuum and a cosmic interconnectedness ... we play endlessly, chase balls, take naps and spend time in the doghouse. My time in the doghouse is usually for some innocent remark ... I call them doghouse comments. Of course, I don't have all the answers and the ones I do have are usually wrong ... this sad syndrome started on February 12th, 1999 ... it is easy to remember ... I was married the day before. (Doghouse comment!)

Nari, who is in the picture, expressed doubts as to the authenticity of this photo. What about *seeing is believing*? Misuzu called me a fake-tographer rather than a photographer ... might just be her accent. (Doghouse comment!)

Why all this doubt? In a world with the magic of love, the beauty of friendship, the logic of computers ... where dreams and imagination dance ... and Santa Claus lives ... why can't this photo be real? It looks real!

So, I've completed the Christmas photo task!

Misuzu wrote the Christmas letter this year (and last year too!) as I was a little slow in getting started. You can read it at www.McManusTaguchi.com ... it is in Japanese.

So, I've completed the Christmas letter task too! (Doghouse comment!)

Shige, 20, is a junior at University of Florida. He now has his car in Gainesville ... it took several months to purchase a parking decal from the University. (Imagine how long a Christmas letter and photo would take!?) Misuzu drove his car often and began calling it her second car. Shige got the

decal just in the nick of time.

Nari, 18, is a freshman at the University of Central Florida. He likes college especially video games, pizza and parties. When he comes home, he brings a huge bag of laundry as there are no washing machines at the University!?!

Misuzu is playing lots of bridge and keeps getting better and better. At a recent tournament, she had the thrill of playing a few hands with Jeff Meckstroth ... a world-class player. His partner was temporarily delayed on the road and the tournament director asked Misuzu to fill in.

I have been busy playing with computers, websites and new software ... also basketball and bridge. The Embry-Riddle Eagles are 10-0 ... GO EAGLES!

May your holidays be filled with love, friendship and kindness.

Love,

Bill, Misuzu, Nari and Shige

こちらでは Thanksgiving からすでにテレビ・ラジオでクリスマス・ソングがながれ、新聞広告がどんどん厚くなってショッピングにパーティーにと、国全体がホリディ・シーズンに突入。日本も年末のあわただしい様相を呈してきたのではないのでしょうか。

年に一回の近況報告となりますが、今年は私たち親子にとっては、大きな転換期でした。子供たちの父親が亡くなってちょうど十年目。二人の子供たちは大学生になりました。

シゲ（賢茂 まさしげ） 二十歳、日本では成人式を迎える歳になりました。University of Florida でバイオ・エンジニアリングを専攻。このまま勉強を続けたいようです。今年の誕生日に車をプレゼントしたにもかかわらず、最初は受け取り拒否、というか駐車許可が取れなかったため、しばらく私がセカンド・カーとして使っていました。11月にはいって、許可証を取って車を取りに戻ったときのこと。なぜか私の抹茶ロールケーキの作り方を教えてくれと帰ってくる前からしつこく懇願。土曜の朝、YMCA をスキップしていっしょにケーキを作ると、それを持って「今日は夜おそくなるから」と自分の車でいそいそと出かけていったシゲ。ま、詳しいことはあまり突っ込まなかった私。次の日、Gainesville に帰るそのとき、見送りに出た私たちに1台のファミリー・カーがアプローチ。父親が車から降りてきて、「今日はシゲが娘を Gainesville まで一緒に乗せていってくれる」ということで彼女を一家（両親と弟）でうちまで連れてきてくれた様子。彼女は同じ高校の2年後輩で高校のときのスクール・バスが一緒だった子・・・というのはその日の夜、電話でシゲから聞いた話。何も聞いてなかったビルと私は半分口が開いた状態。初めてのシゲの長距離ドライブでもあるし、同乗者のいた方が安全かなと思っていた私は「よろしく!」。でももちろん、その晩、同じ電話でシゲに突っ込み。抹茶ケーキは彼女のバースディ・ケーキでした! で、彼女の誕生日に合わせて、車を取りに戻ってきたシゲ。こいつ、やるじゃない! ?

ナリ（賢成 まさなり） この春、無事に高校を卒業。卒業式には母・姉・そして昨年暮に亡くなった私の従兄弟の奥さんである美和子さんが来てくれました。高校最後の年にやっとかさ内申（成績 GPA）をあげて、なんとかフロリダの奨学金75%をゲット。そのナリに次々と難関が。University of Central Florida へは条件付入学許可が。新学期の前に、夏季コース2クラスをC以上の成績、遅刻は3回まで、定期的なカウンセリングにスタディー・グループへの参加、それをクリアしないと大学生になれないナリ。ビルと私で叱咤激励。それも

クリアし、はれてUCFの新生となったナリ。なのに・・・・・・20 lbs. (約9 Kg) も体重を増やし、お金も使いまくった最初のヶ月(涙)。去年あんなに一生懸命二人でジム通いして25 lbs.(約11 Kg)も体重を減らしたあの努力はどこに。寮生活でダイニングはいつでも何回でも食べられるようにし、学校のジムは寮のすぐ後ろ。にもかかわらず、9月は毎日ダイニングで食べるほか、毎晩、夜遅くまでゲームに励み、夜中近くに出前を頼み、午前中のクラスを終えると午後2時から6時までには昼寝、そしてジムは混んでいるからという理由でスキップ。10月はじめに銀行の明細をチェックして気づいた私。やってくれました。10月はじめの週末に戻ってきたナリに最初にきれたのはビル。ビルは本気で飲酒やドラッグ、そしてギャンブルの心配をしたようです。でも、私は食べ物だということを確認。私は冷ややかに二人のやりとりを聞きながら、チクリ・チクリといやみを。体は大人でも、まだまだ社会未経験のティーン・エイジャー。でも性格いいから、ま、いいか。今では本人も反省していて、「失敗・失敗」といっています。

ビル まずは彼の大好きな Embry-Riddle のバスケット・ボール・チームの近況から。現在9勝0敗。で至極ご機嫌な彼。相変わらず試合ではレフリーを怒鳴りまくってます。本人しきりと「怒鳴りすぎ？」って私にきくのですが、これでストレス解消になればしめたもの、「もっと怒鳴ってもかまわない」って煽ってます。レフリーのバッド・コールのときには、私もひそかに「Three Blind Mice、Three Blind Mice・・・・・・」と歌ってます。今年の9月に Daytona Beach の YMCA が閉鎖され、ビルの唯一のエクササイズであるバスケット・ボールは私が行っている Ormond Beach の YMCA に移行。これが月・水・金。これに加えて、Holly Hill のシティ・ホールのジムで火・木と Daytona から分かれた別のグループのバスケット・ボールに加わることに。「過ぎたるは及ばざるが如し」のことば通り、3週間このスケジュールでバスケット・ボールをしたビルは足を痛めて約一ヶ月運動できなくなりました。だいたいこの暮れに63歳になるのに、20代・30代のプレーヤー相手に熱くなってどうする！今は本人だいぶ気をつけてるようですが。コンピュータに関しては、相変わらず、家にいるときはいつもコンピュータの前に座っているビル。この2年ほど Web Design に凝っていて、いくつかのブリッジ・クラブのウェブ・サイトを立ち上げましたが、今は Photo Shop に興味が移動。うちのブリッジ・クラブのウェブ・サイトはもちろんビルが引き続き管理してますが、新しいウェブ・サイトの開設はもうしないそうです。今年は以前に比べてビルがブリッジをする回数も激減しました。ブリッジって感情をコントロールするのが結構むずかしいゲームなので、家庭円満のためにはお互いに避けた？方が無難かも。冗談はさておき、彼の親友であり、ブリッジ・パートナーでもあるカールが奥さんの体調不良でスケジュールが難しいことと、月曜から金曜までのバスケット・ボールの時間が、ブリッジのスタートの時間と重なっていることも一因です。

私？ 相変わらず週3回、朝のうちに YMCA でスピニング (ステーションナリー・バイクを使ったエアロビクス) を。たっぷりと汗をかいた後、ブリッジで脳トレと完璧な組み合わせ。スピニングも今では2時間やっても楽勝。ブリッジのトーナメントは今年はローカル以外はまったく参加しませんでした。2月には母の手術のため1ヶ月近く日本にいたし、5月にはナリの卒業式、6月からナリの夏季コースがあったし、寮 (Orlando) との往復には私たちが運転手だし、えっ、なんでこんなに忙しいんだろうっていうくらい忙しい。エンプティ・ネスト症候群??とんでもない、本当になぜか時間が加速度的に過ぎていく感じ。年をとったからかな？でもブリッジ・クラブにいくと、自分がとってもこどもになった感じ、だって60代は若いし、平均年齢としては70代で私の親の世代、80代・90代のプレーヤーも稀じゃないし。でもブリッジ・プレーヤーの脳の鋭さは、本物。あっ、そうそう、今年のブリッジでの最大の出来事は、9月のうちのクラブでのトーナメントに Jeff Meckstroth というアメリカを代表するプロ・プレーヤーが参加したことと、私とその彼のパートナーを2ラウンド務めたこと。彼のパートナーが車の故障で遅れたため、トーナメント・ディレクターのパーティがその日、キッチンで働いていた私に白羽の矢を。

そりゃもう、緊張しましたよ、はい、だって2ラウンドといっても6ボードはプレイしなきゃならないわけだし、私のせいでスコアが悪くなるのもいやだし。結果は、上々。パーティも私がプレイした6ボードの成績を個別にプリント・アウトしてくれて、「みすず、とってもよかったよ」っていってもらえました。とってもシャイな人だけど、プロとしてクライアントをリラックスさせる方法も知っていて、私に「楽しんでね」ってしてくれました。その後、トーナメントの間、ずっと彼のプレイを横に座って見せてもらいました。これは本当に貴重な経験でした。

少し私の両親のこともここに加えておきます。

父は脳梗塞後、今は長野の家から車で30分ほどのところの特養に入ってます。2月に母の病院と父の施設と2箇所行き来をしましたが、父には昔の面影はなく、むしろ陰がすっかりとれてニコニコと本当に可愛いおじいちゃんになってました。私の後を追ってきて、「今から病院に行くから一緒には行けないよ。また来るからね」というと、寂しそうな顔をみせつつ、それでも素直に自分の部屋へと戻って行きました。スタッフの方たちからはとってもかわいがられている様子で、何よりです。

母は、2月の右肺の手術に続き、9月半ばに左肺も手術しました。結果として両方とも初期の肺癌でした。幸運なことに、早期だったこと、本人が健康で体力もあったことで、回復も早く、普段の生活にはまったく支障はありません。8月の段階では手術は10月といわれていたのが9月になったのと、ビルのミネソタへの旅行とが重なったため、私はいけませんでしたが、東京の姉と、静岡に単身赴任中の義兄が週末のたびに長野まで足を運んでくれました。少ない家族のうえ、地理的にばらばらな生活をしてはいるものの、お互いの協力でなんとかしのいでいます。5月にはこちらに来ることも出来たし、母にとっては大変な年ではありましたが、ラッキーな年でもありました。

健康が何をおいても一番と感じさせられた一年でもあります。

それでは皆様もよいお年をお迎えください。

みすず